

:Company Name

東山口信用金庫

:Personal Data



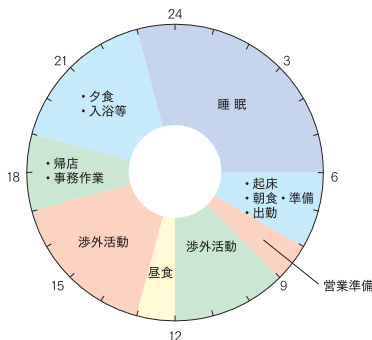
**いつも身近に。
いい信頼関係を築きたい。**

仕事のモットー

「いつも身近に」ということ。何かあれば信用金庫に相談すればいいと思っただけのような信頼関係を築く。その為に、お客様のことをより知って、自分のことを良く知ってもらうことを常に心がけています。

学生へのメッセージ

就職活動中は上手くいかないことが多く自身なくなることありますが、いろんな企業を見たり、いろんな人の話を聞いて自分が頑張れる環境を焦らず探してほしいと思います。



:Profile

田村 和哉さん(28歳)

本店 渉外担当
山口県防府市出身
松山大学経済学部卒

:Company Profile



東山口信用金庫

当金庫は、協同組織による地域金融機関として、円滑なる金融サービスにより、地域産業経済の発展と振興及び地域住民の生活向上に寄与し、地域社会の繁栄に貢献します。

- 事業内容 / 預金業務、融資業務、為替業務、その他業務、サービス業務
- 設立 / 平成3年4月
- 本社所在地 / 防府市天神1丁目12番18号
- 代表者 / 嶋本 博
- 資本金 / 8億5百万円
- 従業員数 / 306名(うちパート31名)
- 事業所 / 防府市、周南市、下松市、光市、柳井市、岩国市、熊毛郡

お問い合わせ先

担当/総務部 藏重 之則
TEL 0835-23-2323
E-mail soumu@higashiyamaguchi-shinkin.co.jp
http://www.higashiyamaguchi-shinkin.co.jp/

:Interview



まずは、自分や信用金庫を知ってもらうことから。

地域密着の金融機関として親しまれている信用金庫。金融業務にとどまらず、地元の中小企業が販路を広げるための支援も行う。

渉外担当の田村さんが、大切に語るのは信頼関係。昔からの顧客は、担当が変わっても優しく出迎えていただけるが、新しい若いお客様は、なかなかそうはいかないという。

「まずは自分のこと、そして信用金庫のことを知ってもらうことから。取引はその信頼関係の延長線上にあります。」今日も田村さんは、誠実に渉外活動を続けている。

お客様との交流で様々なものが得られる。

田村さんは「地域に貢献したい」という思いでこの会社を選じた。地元で密着した金融機関だからこそ、できることがある。特に取引の際は直接お客様のもとに伺うことにしている。「ここでは色々な年齢の方と接する機会があります。その時にお客様から様々な知識・経験を教えていただけます。また何よりもお礼を言われたときは非常にうれしいですね」

しかし、お客様と接していく以上、嬉しいことだけではない。こちらのミスでお客様から怒られることもある。「さすがにその時は『申し訳ない』という気持ちになってへこみますね。しかし、一回怒られたことは二度としないように注意します。怒られることも成長の糧としてプラスに捉えていかなければなりません」ただ注意されて落ち込むだけではなくそれも成長の機会にする。田村さんの姿勢は非常に前向きだ。そのような田村さんの目標は「先輩方と会社を支えていける存在になりたい」ということだ。

:Company Name

社会福祉法人 ひとつの会

:Personal Data



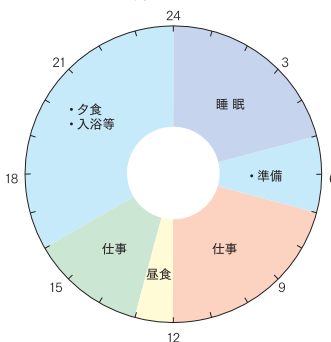
好きな人たちには
幸せでいて欲しい。

仕事のモットー

LOVE!! 家族でも友人でもないけれど他人でもない。利用者様と私の関係って不思議です。その人を好きな事から始まる。私はそんな気がします。好きな人には笑っていてほしいし、幸せになってほしい。顔のシワもわがままも、可愛く愛おしく感じられます。

うれしかったこと

夜勤中「あんたまだ寝ちゃらんのかね。ここにはいって寝んさい。」とベッドを半分空けて下さったり、「これ美味しいからあんたも食べんさい。」と自分のお菓子を半分こしてくださったり。利用者様の不意な優しさには緊張が解け、ほっこりさせられます。



:Profile

種田 愛さん(37歳)

グループホーム 笑生苑 副主任
山口県防府市出身
長崎ウエスレヤン短期大学卒

:Company Profile



社会福祉法人 ひとつの会

法人理念「人の為に走れ」のもと、利用者・家族・地域の方々はもちろん、職員同士も含め走っています。若い法人なので、やりたい事をみつけられます。

- 事業内容 / 高齢者福祉事業を、施設系・訪問系・通所系と多岐にわたり実施。
- 設立 / 平成16年8月
- 本社所在地 / 防府市大字佐野152-1
- 代表者 / 理事長 内田 芳明
- 資本金 / 8700万円
- 売上高 / 13億円
- 従業員数 / 317名(うちパート102名)
- 事業所 / 防府、山口、宇部に高齢者福祉事業を8拠点にて展開。

お問い合わせ先

担当/統括本部 大矢 芳孝
TEL 0835-26-6667
E-mail info@hitotsunokai.jp
http://hitotsunokai.jp/

:Interview



地元の人役に立ちたいと、介護職へ。

「人に喜んでもらうことが大切だと思ったので、この仕事に飛び込んだ」と話す種田さん。以前は全く別の仕事をしていて、介護職に転職して5、6年になるそうだ。

若い頃は、都会に出たいと外を向いていた。しかし、年を重ねるにつれ「身近な人を大切にしたい」という気持ちが強くなっていった。自分にできることで、地元の人役に立てることは何かと考えた末にたどり着き出会ったのが、社会福祉法人ひとつの会だった。

めげないことが大切。根気強さが信頼に。

種田さんの主な業務は認知症の方の生活補助。食事、入浴等の手伝いはもちろん、「ただ生活しているだけでは面白くない」と、入居者の方々に楽しんでもらうためのイベントを考えたりもする。これらをスムーズに行う上で大切になるのが「信頼関係」だ。

「認知症の方は私のことを覚えてなかったりするので、感覚的にこの人(種田さん)は味方だと思ってもらうまで、くじけず心を込めて対応していく」という。根気強く接していると、自分のことを受け入れてくれる瞬間があるのだそうだ。しかし、時にはどうしても焦ってイライラしてしまうこともある。そういう時には、相手にもそれが伝わってしまい不機嫌にさせてしまうこともある。

「相手が幸せそうなら自分も嬉しいし、悲しそうだったらこっちも落ち込む。逆に、自分が明るく接すれば相手も明るくなってくれる。」と話す種田さん。取材中も常に笑顔で、その笑顔につられ、緊張で固くなっていた私たちの顔も笑顔へと変わっていった。

株式会社 防長トラベル



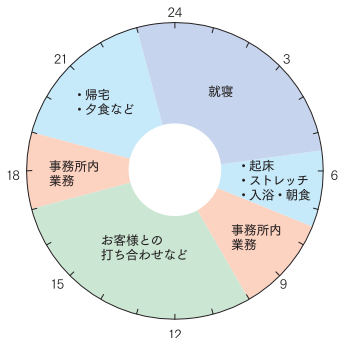
形のない旅行。楽しむ気持ちで作り上げる。お客様と共に。

仕事のモットー

私のモットーはお客様に感謝の気持ちを常に持ち、一期一会の機会を大切にすることです。私たちは、お客様の大切な旅行に携わることのできる仕事です。そのご旅行を楽しんでいただき、笑顔になっていただきたいと思っています。そして、自分自身もお客様と一緒に楽しむことも忘れないよう心がけています。

うれしかったこと

私の主な仕事は団体旅行のご提案をすることです。その中には修学旅行もあります。一緒に添乗員として旅行を楽しみ勉強する中、帰ってきてから子どもたちからいただく手紙がなにより嬉しいです。



:Profile

俵 智和さん(33歳)

山口支店 次長
山口県防府市出身
山口大学 人文学部 人文社会学科卒



株式会社 防長トラベル

弊社は今年で創立60周年を迎えます。人でいえば還暦になります。地域に根づいた企業として、身近でより暖かい心のこもったご旅行を提案させていただきます。

- 事業内容 / 大きく3つに事業構成されています
①募集ツアー ②団体修学旅行 ③個人旅行
- 設立 / 昭和31年9月
- 本社所在地 / 周南市有乗町23番地
- 代表者 / 伊藤 潔博
- 資本金 / 5,000万円
- 売上高 / 約32億円
- 従業員数 / 66名(うちパート12名)
- 事業所 / 10ヶ所(本社営業部、広島、岩国柳井、下松、防府、山口、宇部、下関、萩、長門)

お問い合わせ先

担当/総務部 藤本 誠
TEL 0834-31-5545
E-mail Fujimoto-mkt@bochotravel.co.jp
www.bochotravel.co.jp/

:Interview



「一緒に楽しむ」ことが、満足度アップに繋がる

「実は自分が一番、旅行を楽しんでるかもしれません。」山口支店の副支店長を務める俵さんは眉尻を下げながら笑う。同社は、山口県内を中心に、地域密着のサービスを提供する旅行会社。大手会社に比べ職員が少なく、ツアー企画担当が自ら添乗がほとんどだ。

「だからこそ、お客様と一緒に作り上げた旅行と一緒に行って『良かったね。』と言い合えることがうれしいしやりがいです。」宿泊等以外に「もう+α」に応える心がけがお客様の満足度を左右するキー。いかにお客様目線で考えるかが重要だと俵さんは語った。

「イメージ」でさらに楽しい旅行計画を

旅行商品には形がない。実物を提示できないからこそ「イメージ」しやすい、いつも観光地調査を怠らない。「聞いて」要望を引き出すことも重要だ。

「ネット予約だけではわからない実態の情報を得られるのも当社の強みです。」と俵さんは話す。そんな俵さんの夢は「宇宙旅行を扱う」こと。楽しむ心を忘れない前向きさに、山口から宇宙へも夢ではない、そう思わずにはいられなかった。

:Company Name

株式会社 毎日メディアサービス山口

:Personal Data



Gen Hisamatsu

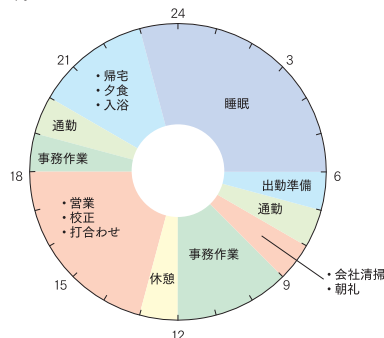
常に「求められている以上の+αの仕事」を。

仕事のモットー

ひと手間を惜しまない事です。クライアントに対しても社内の人に対しても同じです。要望+α提供できるように目指して取り組みます。その優しさを持つと周囲とうまく関わっていただけるように感じます。

うれしかったこと

クライアントから会社の食事会やゴルフなど仕事以外でお誘いを頂ける時が嬉しいです。普段お話する機会のないスタッフの方と交流したり、会社の雰囲気も感じることが出来ます。何より、私に声をかけて頂いた事が嬉しいです。



:Profile

久松 元さん(29歳)

サンデー新聞事業部
福岡県北九州市出身
梅光学院大学現代コミュニケーション学部卒

:Company Profile



株式会社 毎日メディアサービス山口

新聞折込・ポスティング事業では全国にチラシを取扱い。サンデー新聞事業ではフリーペーパー「サンデー」を発行。生活支援サービス事業ではベンリー下関北店が2015年8月営業開始。

■事業内容 / 新聞折込事業・フリーペーパー「サンデー新聞」の発行事業・ポスティング事業・生活支援サービス事業

- 設立 / 昭和55年5月
- 本社所在地 / 下関市一の宮卸本町2-3
- 代表者 / 佐藤 明
- 資本金 / 2,200万円
- 売上高 / 3,538百万円
- 従業員数 / 49名(うちパート8名)
- 事業所 / 山口・周南・防府

お問い合わせ先

担当 / 総務部 吉本
TEL 083-229-5600
E-mail yoshimoto@mainichi-oriokomi.net
<http://www.mainichi-oriokomi.net/>

:Interview



環境の変化に対応した事業展開が強み。

フリーペーパー「サンデー」を山口県下で配布する毎日メディアサービス山口。ネットの普及により「新聞離れ」が起こっているが、「紙面でしか得られないものもあるし、それぞれに適した情報をうまく活用すれば2つの価値を上げることにつながる。」と久松さんは話す。

現在、同社では「サンデー」に新しい機能を取り入れている。サンデー紙に掲載されている写真をスマートフォンのアプリにかざすと、自動的に動画を見ることが出来る機能だ。このように、紙面とインターネットを融合した新しい情報提供を行っている。今あるものを活用しながら新しいものを取り入れるのは同社の特徴だ。

何事も経験、考えるより行動。

営業担当の久松さん。クライアントの課題や要望を広告という形にすることが仕事。ただ、必ずしも仕事の話ばかりではない。プライベートな話から共通の話題で会話しながら、その会社が本当に求めているものを引き出すのだ。「心を許していない友達に悩みを打ち明けられる人はなかなかいない。それと同じで、安心してもらわなければ求められている仕事はできない」と久松さんは話す。

そのため、久松さんは常にアンテナを張って行動している。自分では訪れないであろう場所に自ら出向き、多くのことを実際に感じることで求められている以上の情報を提供することに繋がり、クライアントが求めること以上の仕事が可能になるそうだ。

また、「何事も経験、考えるより行動すること」と教えてくれた。その向上心がクライアントの安心を生み出し、期待以上の仕事に繋がっていると感じた。

:Company Name

株式会社 丸久

:Personal Data



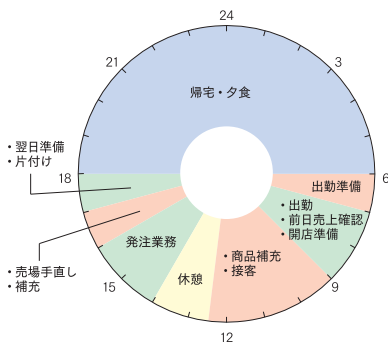
「売る喜び」を感じられる仕事。

仕事のモットー

どれだけ忙しい時でも、落ち着いて行動するように心がけています。慌てて仕事をして、それは結果的に不十分なものになりますミスも誘発してしまうからです。

休日の過ごし方

車で外出することが多いと思います。平日休みが多いので人も車も少なく快適です。まとまった休みが取れた時は、友達と予定を合わせて旅行にも行きます。



:Profile

藤本 健太さん(25歳)

加工食品部門 サブチーフ
山口県下関市出身
独立行政法人 水産大学校 水産流通経営学科卒

:Company Profile



株式会社 丸久

地域の山口県の企業として、地域の食生活を支え、地域社会への貢献活動を積極的に行い、これからも愛され続ける100年企業を創っていきます。

- 事業内容 / 食料品・スーパーマーケットチェーン
- 設立 / 昭和29年3月
- 本社所在地 / 防府市江泊1936
- 代表者 / 田中 康男
- 資本金 / 10億円
- 売上高 / 844億6800万円
- 従業員数 / 5045名(うちパート4355名)
- 事業所 / 山口県、北九州市、広島県西部

お問い合わせ先

担当 / 人事能力開発部 堀田
TEL 0835-38-1511
E-mail saiyou@mrk09.co.jp
<http://www.mrk09.co.jp/>

:Interview



楽しく働きやすい環境。

山口県内で知らない人はいない、売上・信頼ともにトップクラスを誇る丸久。同社の加工食品部門で働く藤本さん。加工食品部門とは、日配食品・飲料・菓子などを扱い、店の売上の1/3～半分を占める部門である。

「面接で話をしっかりと聞いてもらえた。他の企業にはない、雰囲気の良いがあった。」同社を選んだ決め手を藤本さんはそう語る。入社してからは仕事量が多く忙しい毎日だが、とても楽しく働きやすい環境だそうだ。また、地元が近い安心感と豊かな自然が、山口県内で働く魅力だと笑顔で話す。

自分の考えや信念を大切に。

個性を出した売り場を作り、商品が売れるまでを見届けられる。それが仕事の魅力だと藤本さんは語る。様々なデータや知識をもとに商品を発注し、買いたくなる工夫を利かせた売り場を作る。売り場から商品が無くなっていくのを見て、「売る喜び」を感じる事が出来る。

「将来はチーフになり、新店の立ち上げをしてみたい。大型店舗で働き、若手を育ててみたい。」藤本さんはとても意欲的だ。同社は全員で新人研修を行い、半年に一度、上司とキャリアアップについて考える「目標面接制度」を設けるなど、若手が成長できる環境が整っている。このような社風が、藤本さんのように活躍できる人材を育てているのだと感じた。

「他の人に左右されず、自分の考えや信念をもって進んでほしい。社会人になって数年経てば、自分をコントロールできるようになり、仕事のやりがいも増えてくる。」藤本さんからの就活生へのエールだ。この声援に応えられる就活生になりたいと心から感じた。

:Company Name

株式会社 ミッドフォー

:Personal Data



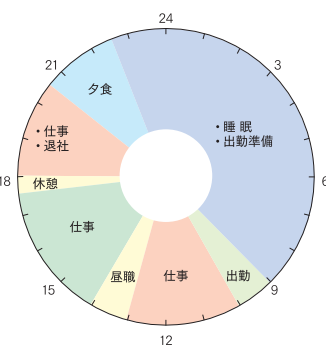
いつも笑顔を忘れず 余裕のある接客を目指す

仕事のモットー

私のモットーは「いつも笑顔でいること」、「お客様からまだ勉強していないことを聞かれても動揺せずに落ち着いた態度で対応すること」です。

うれしかったこと

まだ自分だけで出来ることが限られている中で、つたない私の提案にご納得いただいでご購入、ご契約につながった時はとても嬉しかったです。



:Profile

船瀬 智也さん(24歳)

auショップゆめタウン山口
広島県廿日市市出身
山口大学経済学部経済法学科卒

:Company Profile



株式会社 ミッドフォー

山口県内に9店舗を展開するauショップ MINI Garage「パaddockス」や飲食店、セキュリティ事業を展開し、安全でより良い生活環境をご提供できるよう、さらなる発展を続けます。

- 事業内容 / 通信事業・飲食業・セキュリティ事業・自動車販売
- 設立 / 平成3年6月
- 本社所在地 / 山口市大内長野593-1
- 代表者 / 千坂 孝司
- 資本金 / 2,000万円
- 売上高 / 41億円(2015年4月)
- 従業員数 / 200名(うちパート90名)
- 事業所 / 山口県(山口市、防府市、周南市、光市) 福岡県・広島県・愛知県

お問い合わせ先

担当/総務部 藤井
TEL 083-941-6558
E-mail jimu@midfour.co.jp
<http://http://www.midfour.co.jp/>

:Interview



人と人とのつながりを感じられる仕事。

auショップをはじめとして、情報通信サービス、自動車販売、飲食業、セキュリティ事業など、人々の生活を様々な方向から支えているミッドフォー。同社の6つに分けられた部署のうち通信事業部に所属している船瀬さん。「auショップゆめタウン山口」に勤務し、店頭での業務を担当している。

船瀬さんのモットーは「いつも笑顔でいること」。お客様からの感謝の声は何よりのやりがいと語る。「一度ご相談をお受けしたお客様に、再度ご来店いただいた際「船瀬君!」と名前を呼んでくださった時はとても感動した」と嬉しそうに話してくれた。

お客様が話しやすい空間づくりを意識。

小売業の仕事は、メーカーが開発した商品を仕入れて店頭で商品を販売することだ。しかし、メーカーとお客様をつなぐパイプ役として単に商品のことを伝えるだけでなく、お客様一人一人との絆も大事だ。「お客様も自分も、互いに話しやすい空間づくりを大切にしている」と船瀬さんは話す。

お客様から会話を引き出す中で、時には相手の趣味・嗜好やご家族の話をついつりリラックスしてもらう。さらに、そこからお客様の生活がより便利で快適になる最適なサポートを自分で考えて提案する。こうした人と人とのつながりやお客様への思いやりが企業の発展を支えてきたと言っても過言ではない。船瀬さんは、「もっと沢山の知識を身に付けてより良いご提案が出来るよう励みたい」と語る。

10年後のビジョンは、「企画に携わること、会社の中心になって新しいことへ挑戦したい」と話してくれた。

山口朝日放送株式会社



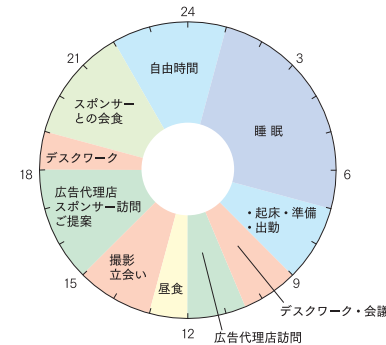
いろいろな人と触れ合える それが魅力です。

仕事のモットー

「切り替え」を大事にしています。仕事をしていると良い事も悪い事も、成功も失敗もありますが、それはあくまで一時的な事だと割り切り、次の日からは新しい気持ちで仕事に取り組むようにしています。

うれしかったこと

CMやイベントをご提案した際「中村さんが勤めるなら」と自分を信頼して仕事をいただいた時は本当に嬉しかったです。毎日の営業で人間関係が築けてくるにつれて、こういった案件が増えていくのでやりがいにもなります。



:Profile

中村 亮介さん(29歳)

営業部
岡山県岡山市出身
下関市立大学 経済学部 国際商学科卒



山口朝日放送株式会社

豊かな自然と歴史遺産に恵まれ、エネルギー豊富な山口県をサービスエリアにしているテレビ朝日系列のテレビ局です。

- 事業内容 / テレビ放送業
- 設立 / 平成4年11月
- 本社所在地 / 山口市中央3-5-25
- 代表者 / 渡辺 興二郎
- 資本金 / 30億円
- 売上高 / 42億4800万円
- 従業員数 / 88名
- 事業所 / 本社(山口市)
東京支社、大阪支社、広島支社、福岡支社、周南支社、下関支社、岩国支局

お問い合わせ先

担当 / 総務局総務部 芝田 正広
TEL 083-933-1123
E-mail saiyou@yab.co.jp
http://www.yab.co.jp/

:Interview



多種多様な業務が存在するテレビ局の仕事。

県内放送局の中で最も若い山口朝日放送。若い会社だからこそ、しがらみや固定観念にとらわれることなく、物事に柔軟に対応でき、変えていけるのが強みだ。

同社の営業部に所属する中村さんは、顧客にテレビCMを提案し、ニーズに応えながら販売するのが仕事。放送局の営業は人数が少ないため、一人ひとりの仕事がとても重要だ。会社売上の大半を占めるCM販売は、様々な人と関わることができる。

また、テレビ局には、制作や編成など様々な職種もあり、部署によって全く違った業務内容のため、数多くの経験ができる。中村さんも、将来は他の部署でも働きたいと考えている。

“山口をもっと元気に”を形に。

山口県は地域に愛着があり、昔からの関係を大事にしている人が多く、人の輪が広がるのが魅力だと、中村さんは言う。1人の人と知り合うと、その知り合いとも親しくなり、そこからさらにつながりが生まれるそうだ。このつながりをとても大切にしている人が多く、岡山から来た中村さんは、山口県民にあたたかさを感じている。

山口に住む方はみな、“山口をもっと元気にしたい”という思いを抱いているが、それをなかなか形にすることができないでいる。中村さんは将来、そんな思いを形にすることを目標にしている。具体的な案は現在模索中だが、他県にアピールできる何かをつくっていったら良いと話す。メディアの影響と若い会社ゆえの柔軟性を生かして働きかければ、近い将来きっと達成できると感じた。

:Company Name

株式会社 山口グランドホテル

:Personal Data



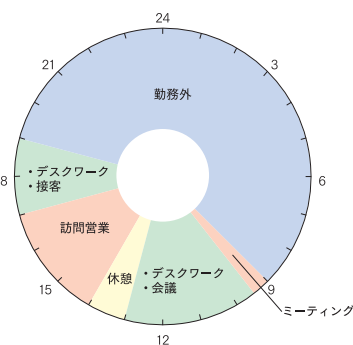
**お客様に思いやりを、
自分自身に誇りを持った仕事。**

仕事のモットー

ビジョンである「私達は常にお客様に対し思いやりの気持ちで接し、家庭の延長のようなあたたかく和んでいただける接客サービス、空間づくりを目指します。」

うれしかったこと

お客様から「楽しかった、ありがとう」とおっしゃっていただけることがとても嬉しい。お客様の反応がダイレクトに帰ってくるのが、大変だけどこの仕事のやりがいでもあります。



:Profile

藤井 博さん(39歳)

副支配人
山口県山口市出身
山口県鴻城高等学校卒

:Company Profile



株式会社 山口グランドホテル

山口県中部JR新山口新幹線口正面、駅から歩いて1分の山口グランドホテル。山口県の玄関口として、ビジネス、旅の拠点として抜群のアクセスを誇るホテルです。宿泊、会議、宴会、ブライダルなどあらゆる場面にご利用頂けます。洗練された空間と、自慢の日本料理、西洋料理、中国料理のお食事で、心に響く大切なひと時を演出致します。

- 事業内容 / ホテル業(結婚式場、宿泊(82室)、会議、宴会(会議・宴会場18室)、飲食店(8店舗))
- 設立 / 昭和61年4月
- 本社所在地 / 山口県小郡黄金町1-1
- 代表者 / 松原 雅紀
- 資本金 / 4,000万円
- 売上高 / 非公開
- 従業員数 / 140名(うちパート70名)

お問い合わせ先

担当/管理部 管理課 船戸 克幸
TEL 083-972-7777
E-mail infob@ygh.co.jp
<http://www.ygh.co.jp/>

:Interview



接客は人との出会い。

JR新山口駅新幹線口正面にある山口グランドホテル。ビジネス、旅の拠点であり、宿泊だけでなく、宴会、ブライダルなどあらゆる場を提供しているホテルだ。

副支配人である藤井さんは、営業部次長としてブライダルの企画なども行っている。ホテル業はまさに「接客業」、お客様の反応はダイレクトに返ってくる。

「接客は人との出会い。沢山のお客様と仕事をするということは人間観察力が必要である。常にお客様の立場になって考え、思いやりの気持ちを持って接することで、お客様に喜んでいただけるだけでなく、自分の成長へと繋がる」と語る。

やりがいを誇りに。

山口グランドホテルは、「家庭の延長のような、あたたかく和んでいただける接客サービス、空間づくり」を大切に、山口で一番行きやすいホテルを目指している。そのために藤井さんは、社員ひとりひとりがやりがいを感じ、自分の仕事に誇りを持てるような職場づくりを心がけている。かつて自分が上司に恵まれ、周りのサポートのおかげで誇りが持てるようになったように。

「10年後も変わらず、このままでいたい。このように思えたのは、今の仕事に誇りを持っているから。石の上にも3年ということわざがあるように、慣れるまで時間はかかるが、失敗を次に生かし、少しの辛抱が誇りとなる」と藤井さんは語る。私もいつか自分の仕事に誇りを持てるようになりたいと感じた。

山口日産自動車株式会社



人生のパートナーとして 顧客に寄り添う。

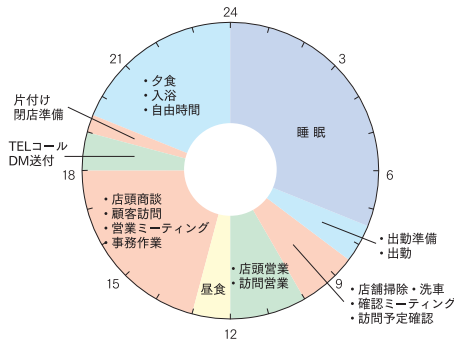
仕事のモットー

「楽しく仕事すること」

自分が楽しくない接客はお客様にとってもつまらない接客です。まずはお客様にとって楽しくて居心地のいい空間を作ること。楽しい仕事になるか否かは自分次第。職場環境もお客様との関係も自分次第で楽しくも苦しくもなりません。

うれしかったこと

点検の予約を取るときに「長廣さんがいる日がいい」と言ってもらえたとき。来店されたお客様に「長廣さんに会いに来た」と言ってもらえたとき。自分が普段から築き上げてきたお客様との関係を実感できてとても嬉しいです。



:Profile

長廣 佳央理さん(24歳)

山口大内店 カーライフアドバイザー
山口県周南市出身
山口大学 経済学部 国際経済学科卒



山口日産自動車株式会社

1929年創業の当社は、日産・アウディ・ボルシェ・ルノー・スズキを取り扱う、87周年を迎える県内で最も歴史あるディーラーです。

日産圏で総合経営賞の社長賞を5年連続、お客様満足度世界表彰では日本代表として3年連続受賞しました。『一番古くて一番新しい』をテーマに100周年を目指しています。

- 事業内容 / 日産・アウディ・ボルシェ・ルノー・スズキの新車販売及びメンテナンス
- 設立 / 1929年4月6日
- 本社所在地 / 山口県大内御堀1220-1
- 代表者 / 代表取締役社長 末富 健作
- 資本金 / 4,500万円
- 売上高 / 145億円
- 従業員数 / 365名
- 事業所 / 県内各地 新車店 21店舗
中古車店5店舗

お問い合わせ先

担当 / 採用室 課長 高橋 昌浩
TEL 083-922-2200
E-mail NYC_090026@yamaguchi-nissan.jp
http://www.yamaguchi-nissan.jp

:Interview



女性ならではの営業で顧客の心を掴む。

山口県内で最古の自動車ディーラーとして歴史を持つ山口日産自動車。カーライフアドバイザーの長廣さんは、顧客から相談を受け、アドバイスをしながら自動車購入のサポートをするのが仕事だ。女性だからこそできる役割を見出しながら、日々顧客と接している。

この仕事の魅力は、「人生の大きな岐路に立ちあえること」だと、長廣さんは話す。車は人生の中で家に次いで大きな買い物であり、その際に相談してもらえることが喜びだ。

また、メンテナンスなどで購入後も頻りに顔を合わせるので、顧客の人生にずっと携わることができる。顧客にとっての“人生のパートナー”となり得るのだ。

“どんなときも笑顔で”をモットーに。

長廣さんが大切にしていることは、「いつ、いかなる時も笑顔でいることを忘れない」ということ。もし変な態度をとってしまったら、そこからクレームにつながり、必ず自分に返ってくる。それだけでなく、一緒に働く仲間にも迷惑をかけてしまうので、常に先のことも考えて仕事をしているそうだ。

また、最近は「面倒なことを後回しにせず、先に済ませる」ということを心掛けているという。入社してすぐに上司から「できる人は言われた仕事をすぐやるものだ。」と言われ、それ以来は与えられた仕事はできる限り即座に済ませるようにしているそうだ。それが信頼につながり、どんどん仕事を任せられると思うと長廣さんは話す。職場の仲間との和やかな雰囲気も、信頼があってこそなのだ、と感じた。

編集 後記

Editorial notes



山口県立大学国際文化学部
国際文化学科3年

上奥 美沙子

取材をする中で、働いている方の生き生きとした姿を見ることができ、本当に楽しくお仕事をされていると感じました。働くことはつらいことばかりだというイメージがガラリと変わりました。お客様からの感謝の言葉や社員同士の交流など、自分を笑顔にすることがたくさんあることを知りました。

このレポートを手にとってくれた皆さんに私が取材を通して感じた生き生きと働く方々のことを、少しでも伝えることができたら、と思います。

取材にあたり、貴重なお話をしてくださった企業の皆様、本当にありがとうございました。



山口大学教育学部
文芸芸能コース3年

岡田 桃実

今回の地元企業の取材を通して、やりがいや魅力については勿論ですが、そのうえで将来の軸をどのように据えるべきかを学ぶ事ができました。

また、直接お話を伺うことで、社会人の方々の熱意を肌で感じることができ、一層「働く」ということに対して意欲が湧いてきました。

これから就職活動に入っていく学生の皆さんも、このレポートを通じて前向きな気持ちになっていただければ、嬉しいです。貴重な経験ありがとうございました。



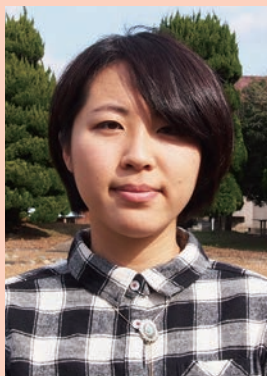
山口県立大学国際文化学部
文化創造学科2年

阿部 佳奈子

今回、山口県内の企業を訪ねて、職種の多さに驚きました。普段目にする事の少ないお仕事のお話を聞くこともできました。

また、企業の方が自分の仕事に対して大きな誇りをもっておられることがわかり、自分もこのような人に誇れる仕事に就きたいと思いました。

御協力いただいた企業の皆さま、本当にありがとうございました。今回の体験を、今後の就職活動や大学生活に活かしていきたいです。



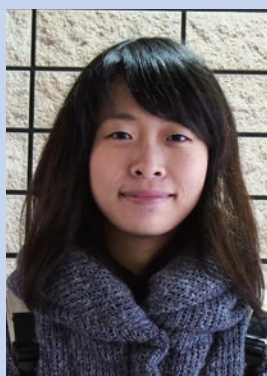
山口県立大学国際文化学部
文化創造学科3年

大田 舞美矢

普段何気なく読んでいた雑誌や新聞でしたが、多くの取材内容から本当に伝えたい事をピックアップして記事にしていることがとても悩ましく大変な作業だとわかりました。

自分の興味がある取材先であればあるほどそれは困難でしたが、地元の企業の事業内容や社風を感じる事ができたのはとても貴重な体験として受け止めています。

このことを踏まえてこれからの就職活動に活かしていきたいです。温かく迎えて頂いた企業の皆さん、ありがとうございました。



山口大学理学部
生物化学科生物学コース3年

清水 祐希

県外出身の私にとって、この体験をさせて頂くまで詳しく知らない企業もありました。

取材の準備や会社訪問、取材を通して県内の企業の魅力に触れることができ「山口で働く人」の魅力がたくさん感じる事ができました。

この体験で学んだことは、自分の足で、目で集めた情報や感じたことは何よりも確かだということです。この経験を活かして、自分の足を使って働ける社会人になりたいと思います。

最後になりましたが、協力してくださった企業の方々、スタッフの皆様へ感謝申し上げます。



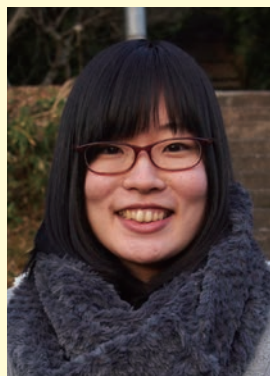
山口県立大学国際文化学部
文化創造学科3年

十亀 陽太

今回、企業を訪問して社員の方から直接お話を伺うことは、自分の知見を遥かに広げてくれました。

以前は、働くということに対して具体的なイメージを描き出すことができませんでしたが、今は違います。どのような人が働いているのか、何の為に働いているのか、どのような場所で働いているのか。働くということ、現実味を持って考えることができるようになりました。

このインターンシップに参加して良かったです。この経験を今後に繋げたいです。



山口県立大学国際文化学部
国際文化学科3年

中村 彩香

今回、様々なことに経験させていただき、私にとって大変貴重な機会になりました。

初めて挑戦することによってどう取り組めばいいのかと戸惑う時もありましたが、実際に自分で企業へ足を運んだり、社会人の方々の生の声を聞いたりして楽しい!と感じることが多かったため、取材や記事作成を通して何事もやってみなければ分からないということを強く感じました。

就職活動で目標がまとまらず悩んでいるという方は、様々な社会人の方々のお話を直に聞くことをお勧めします!



山口大学経済学部
観光政策学科3年

中山 有希

実際に話を聞かなければ分からなかったことが多くあり、会社を調べるにはまず「聞く」そして「知る」ことが重要であると感じました。これから迎える就職活動をする上で、この「聞いて知る」ことで自分を改めて考える1つの方法になるのではないのでしょうか。

今回の取材を通して、私は実際に企業の皆さんのお話を聞いたことで「仕事に対する誇り」を知ることができました。企業の皆さんがそれぞれ持っている熱い想いを文章にすることは難しかったですが、私が微力ながらその想いを綴りました。

このガイドブックをご覧になる皆さんに企業の方の想いが伝わることを願っています。



山口大学経済学部
観光政策学科3年

松西 希美佳

今回、運よく『やまぐち元気企業レポート』の制作スタッフとなり、企業の方々を取材するという、学生ではなかなか経験できないことをさせていただきました。

これから社会に出ていく私にとって、「働く」とは何かを改めて考えることができる貴重な体験でした。山口県で働く魅力をたくさんお話いただいたので、山口県で就職を考えている方には是非見て頂きたいです。

今回、取材にご対応いただきました企業の皆様、本当にありがとうございました。



山口県立大学国際文化学部
国際文化学科3年

門田 侑紀

「働く」とは一体何か。それを具体的にイメージできなかった私は、取材を通して何らかの変化があることを望み参加しました。その結果、非常に興味深く自分にとって意味のある経験ができたと感じています。

就職とは結局、自分と会社がマッチングしているかどうか。それは企業と自分、双方が決めることであり、お互いを知り合がありません。

就活中の方は、この冊子を手に取り少しでも興味がでた企業があればぜひ直接伺いしてみてください。きっと新たな発見があることと思います。





山口県若者就職支援センター YYジョブサロンが提供する 7つの就職支援サービス



① 個別就職相談
キャリアカウンセリング

② 就職支援セミナー

③ 情報提供

④ 適職診断

⑤ 職業紹介

⑥ 就職フェア
などの開催

⑦ 企業と若者を結びつけるイベントの開催



山口県若者就職支援センター(YYジョブサロン)は概ね39歳までの若者及びUJターン希望者を対象に個別就職相談・情報提供・職業紹介等の支援を一貫して行うために県が設置しているワンストップサービスセンターです。

山口県若者就職支援センター

〒754-0014 山口市小郡高砂町1-20 (JR「新山口駅」新幹線口から徒歩3分)
TEL 083-976-1145

カウンセリング・セミナー予約専用

TEL 083-974-5120



相談窓口

山口 山口県若者就職支援センター



開館時間

平日 8:30～19:00
土曜、第2・4日曜 8:30～17:00

※日曜日は、職業紹介及び求人検索はご利用できません。



休 み

第1・3・5日曜、祝日、年末年始

〒754-0014 山口市小郡高砂町1-20 ※JR新山口駅新幹線口から徒歩3分
TEL 083-976-1145・FAX 083-972-3880
カウンセリング・セミナー予約専用 / TEL 083-974-5120
E-mail info@joby.jp

山口県内7ヶ所の県民局でキャリアカウンセリング実施中! 年齢問わずどなたでもご利用いただけます。

※ご予約は前日までに各県民局へお願いします。

会場	電話	実施日	住所
岩国	0827-29-1506	通常相談 / 第1金曜日 女性相談デー / 第3金曜日	岩国市三笠町1-1-1 岩国県民局 (岩国総合庁舎内)
柳井	0820-24-0250	通常相談 / 第2金曜日 女性相談デー / 第4金曜日	柳井市南町3-9-3 柳井県民局 (柳井総合庁舎内)
周南	0834-33-6441	通常相談 / 毎週 (第4除く) 木曜日 女性相談デー / 第4木曜日	周南市毛利町2-38 周南県民局 (周南総合庁舎内)
山口	083-921-9540	通常相談 / 毎週 (第4除く) 水曜日 女性相談デー / 第4水曜日	山口市神田町6-10 山口県民局 (山口総合庁舎内)
宇部	0836-38-2116	通常相談 / 第1木曜日 女性相談デー / 第3木曜日	宇部市琴芝町1-1-50 宇部県民局 (宇部総合庁舎内)
下関	083-235-8791	通常相談 / 毎週 (第4除く) 金曜日 女性相談デー / 第4金曜日	下関市貴船町3-2-1 下関県民局 (下関総合庁舎内)
萩	0838-21-0051	通常相談 / 第2木曜日 女性相談デー / 第4木曜日	萩市江向531-1 萩県民局 (萩総合庁舎内)

東京 やまぐち暮らし東京支援センター (ふるさと回帰支援センター内)



UJI ターンアドバイザー相談時間

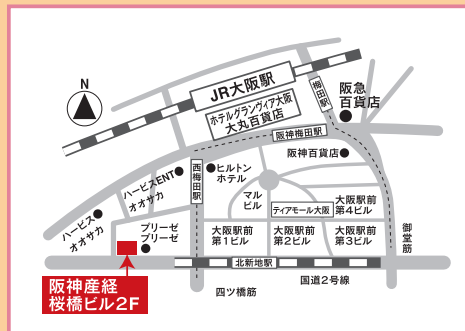
10:00～18:00

休 み

月曜、祝日、盆、年末年始

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館
TEL 03-6273-4887・FAX 03-6273-4404
※JR有楽町駅(京橋口)から徒歩1分
※地下鉄丸の内線銀座駅(C9)から徒歩3分

大阪 やまぐち暮らし大阪支援センター (山口県大阪営業本部内)



UJI ターンアドバイザー相談時間

9:30～17:00

休 み

土曜、日曜、祝日、年末年始

〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル2F
TEL 06-6341-0755・FAX 06-6341-0769
※地下鉄四つ橋線西梅田駅(出口10番)から徒歩3分
※JR大阪駅(桜橋口)から徒歩8分



山口県若者就職支援センター
YYジョブサロン

<http://www.joby.jp/>

YYジョブサロン